

名古屋哲学セミナー  
第49年度  
2024年5月～  
2025年4月

## 第一例会 (第2土曜日)

講師 吉田千秋さん  
講師 中嶋哲彦さん

毎月 第2土曜日

PM 2:00～5:00

会場：国鉄会館 7F

JR 名駅 新幹線口・徒歩7分

# 日本社会に人権と民主主義の果実を！

今年に入ってから、ウクライナ、パレスチナでの戦争は出口が見えず、危機的状況が続いている。20世紀は戦争の世紀と呼ばれてきたが、残念ながら21世紀もそうだ。それは様々な命を奪うだけでなく、人間らしく生きていく一切の諸条件を奪う。

残念ながら国際社会はこれに対して十分な対応ができていない。では私たちの日本はどうか。一昔前は、「戦争放棄した平和な国」として尊敬さえされていた。だがこの「先進大国」は、アメリカの言いなりで自主性もなく、世界から尊敬も信頼も今はない。

その核心は人権と民主主義がめっきり衰弱していることにあるのではないか。今年はこの視点で現状をしっかりとつかみ、それを前進させるために、一人ひとりが主役になりたいものである。

今年も中嶋哲彦さんにも加わっていただき、いっしょに考えたいと思います。

月日	テーマ	担当者、テキスト、資料など
5/11	開講にあたって	ミニ講義「日本は民主主義国なのか？」＋参加者の抱負
6/8	戦後民主主義の出発	中嶋担当：文部省『民主主義』（角川ソフィア文庫）
7/13	虐殺をもたらす構造	吉田担当：岡真理『ガザとは何か』（大和書房）
8/10	敗戦記念公開セミナー	今年は真下先生没後40年 福田静夫さん 記念講演「ポツダム宣言の終焉ー新しい世界史の形成!!-」
9/14	国際人権の視点から	中嶋担当：藤田早苗『武器としての国際人権』（集英社新書）
10/12	治安体制の戦前・戦後	吉田担当：荻野富士夫『よみがえる戦時体制』（集英社新書）
11/9	基地と対峙する人々	中嶋担当：中村、木村『草の根 ヤマトンチュが知らない 「オール沖縄」の実相』（春吉書房新書）
12/14	裁判員制度の問題から	吉田担当：伊藤和子『裁判員と死刑制度』（新泉社）
1/11	新年の展望を探る	新年の新聞・雑誌・テレビ・ネットから考えたこと
2/8	財政から未来を考える	中嶋担当：神野直彦『財政と民主主義ー人間が信頼し合える 社会へ』（岩波新書）
3/8	民主主義のゆくえ	吉田担当： テキスト未定
4/12	春の学習講演会	昨年は佐々木憲昭さんが日本の支配構造について。今年は何？